【福祉行政学科】

担当教員	模擬講義		研究キーワード
	講義テーマ	講義内容	
桑原 真弓	私たちを取り巻く環境を考える	私たちの生活は、水・空気・土などの自然環境と深くかかわっているが、地球環境問題と直結するような健康被害を強く感じる場面は多くはないかもしれない。しかし、当事者である我々が解決しなければならない課題は山積している。本講義では、諸問題の現状を正しく把握し、私たちにできる解決に向けた一歩から考える。	地球環境問題、自然環境、健康
佐藤 英仁	2つ目半額？知らないと損する医療保険制度	日本における医療サービスは、いつでも安心して医療を受けられる「国民皆保険」によって支えられてきました。医療保険制度は非常に身近な制度であり、かかった医療費の3割の自己負担で医療サービスを受けることができます。このことは多くの方がご存じですが、実は医療保険制度にはあまり知られていない制度が数多くあります。知らないと大きな損をしてしまう制度もあるため、本講義を通して、身近な医療制度について理解を深めていただきたいと思います。	診療報酬制度、医療保険制度、国民皆保険
	我々が払った税金の使い道は？日本の財政の現状と問題点	日本にはさまざまな税金があります。高校生の皆さんも買い物をした際、当たり前のように消費税を払っていますが、それが何に使われているのかをご存じでしょうか。本講義では、消費税のような日本国民が負担している税金が、どのように使われているのかを解説します。また、高齢化によって年金の支払いなどが増える中、国は財政的に厳しい状況となっています。一日本人として、今の日本が置かれている深刻な財政の問題点についても学んでいただきたいと思います。	消費税のゆくえ、日本の財政、年金
	売れ残ったお弁当を経済理論から考える	買うお店によってモノの値段は違います。また、同じお店でも閉店間際になると、お惣菜やお弁当が半額になるなど、値引きされているモノを見かけたこともあるでしょう。モノの値段が変化する理由はなぜでしょうか。本講義では、基礎的な経済理論を用いて、モノの価格がどのように決まっているのかを解説します。なお、本講義の内容は、公務員試験の試験範囲にもなっています。	経済理論、需要と供給、価格メカニズム
菅原 好秀	リスクマネジメントと行政	介護事故は転倒・骨折、誤嚥、熱湯風呂による死亡事故など、多岐にわたります。裁判例に言及しながら、介護事故の予防的側面と今後の事故防止の行政の対応について学びます。	介護事故、リスクマネジメント、行政の対応
生田目 学文	核兵器はなぜなくならないのか	核兵器が消えないのは、単なる悪意ではなく「核抑止」という安全保障のジレンマが根底にあるからです。核による報復の恐怖で攻撃を阻む論理が、皮肉にも軍縮を阻んでいます。また、自国で持たずとも大国の「核の傘」に頼る同盟関係も廃絶を難しくする現実です。講義では、理想と国際政治の冷徹な構造を解き明かします。	核兵器、核抑止、核の傘
	日本は近い将来戦争をする国になるのか	日本の未来は、激変する「安全保障」環境の舵取りにあります。強固な「日米同盟」は抑止力として平和を支える一方、大国間対立に巻き込まれるリスクも孕みます。特に緊張が続く「日中関係」の制御は、日本の命運を左右する最重要課題です。感情論を排し、理論と現実から「戦争を防ぐための論理」を共に探求します。	安全保障、日米同盟、日中関係
	世界の子どもたちを支援する活動について	過酷な現実に直面する「ストリートチルドレン」や、紛争で故郷を追われた「難民」の子どもたち。彼らへの支援は物資提供に留まりません。本講義では、言葉の壁を越える「絵」を通じた心のケアや自立支援に焦点を当てます。描かれた線に宿る彼らの「声」をどう受け止め、私たちが世界を変える一歩をどう踏み出すべきかを考えます。	ストリートチルドレン、難民、絵
萩野 寛雄	アンパンマンはなぜ、愛と勇気「だけ」が友達なのか	「アンパンマンのマーチ」のテキスト解釈を通して、「中等教育と高等教育の違い」「大学での学びとは何か」を考えます。宗教的知識、ハイデッガー哲学、やなせたかし研究などを通じて、個々の知識を組み合わせて自分の意見を論理的に構築していく様をトレースし、大学での学びの意義を講義し	大学の学びとは、リベラルアーツ、福祉とは何か
	官民協働による「まちおこし」 ～葉っぱビジネスと聖地巡礼～	20世紀までの官中心の地域振興政策ではなく、21世紀の官民協働によるまちおこしを事例に即して解説し、広義の公務員がそこで果たす役割を説きます。事例としては葉っぱビジネスで著名な徳島県の上勝町や、高校生にも親しみのあるアニメや漫画の聖地巡礼を活用した自治体を取り上げます。	まちおこし、官民協働、コンテンツツーリズム
尹 永洙	政府はなぜ必要なのか？	政府は当たり前のように存在していてなぜそうなのか、なぜ必要なのかについてはあまり考えることはなかったかもしれない。それを共有地の悲劇という理論と市場の失敗を防ぐ装置として政府の必要性を説明する。	政府とは、共有地の悲劇、市場の失敗
河嶋 春菜	自由を制限して健康を守る？―法がデザインする医療のあり方	医療スタッフを規律するルールは、彼らの自由を制限しているようにみえて、実は彼らの専門性を守る「盾」でもあります。裁判例を題材に、法がどのように医療の質とプロの品位を担保し、日本の医療を形作っているのかを解き明かします。	法学、医療、人権
	命の選別？―憲法はトリアージを許すか	パンデミックや災害によって多数の傷病者が発生した際に、治療や搬送の優先順位を決めることを「トリアージ」といいます。平等を掲げる憲法はトリアージを許しているのでしょうか。	憲法、医療、生命倫理
松井 克明	ふるさと納税と地域活性化	ふるさと納税は居住地に関わらず様々な自治体に寄付を行う制度。 地域の特産品などを返礼品として受け取ることができ、所得税と住民税から税金の控除が受けられる人気の制度で、地域活性化の起爆剤として期待されている。だが、一方で、税金の研究者からは制度廃止の要望も多い理由を考えます。	観光、地域活性化、地方自治
	空き家問題の活用策	1級ファイナンシャルプランナーの資格も持つ講師が、人口減少で空き家が増える理由、どう利活用できるかを考えます。不動産価格、住宅のかかる税金、相続などのリアルな数字と希望のある事例をもとに学びます。	空き家問題、地域活性化、不動産価格の決まりかた
村山 くみ	広がる“生きづらさ”と求められる地域の力― 地域共生社会をどう実現するか	広がる“生きづらさ”の背景にある社会的孤立を踏まえ、地域福祉が果たす役割と、地域に求められる支え合いの力について学びます。地域共生社会の考え方をもとに、私たち一人ひとりが地域とどう関わり、助け合いを実現していくかを一緒に考えていきます。	社会的孤立、地域福祉、地域共生社会
山本 窓亜	個人の責任？社会の責任？ ～民法の視点で"責任をとる"を考える～	誰かの権利等を侵害したら、民法上"責任をとる"ことになります。しかし、例えば子どもや認知症患者の場合、本人に責任を負わせることは妥当でしょうか。では、誰が責任をとればいいのでしょう。裁判例をヒントに、自治体の提案する解決策を学び、福祉社会における行政の役割を考えます。	不法行為、監督義務者、認知症神戸モデル
	契約って何？	契約は、日常のあらゆる場面に存在します。裏を返せば、日常のあらゆる場面で契約上のトラブルが生じる可能性があるということです。普段私たちは、誰とどのような契約を結んでいるのでしょうか。トラブルに巻き込まれたらどうなるのでしょう。契約って何？を出発点に、自分の意思で自由に契約を結ぶことの意義を考えます。	私的自治の原則、契約、意思表示